



林 声



OKAYAMA

お か や ま

No. 353 . 2000 . 9 . 1



目 次

岡山二十一世紀		普及指導最前線.....	5
森林・林業ビジョン 2	“樹”	6
岡山県緊急間伐推進計画		普及指導区の紹介	7
について ...	3	お知らせ	8 ~ 9
シリーズ地域の名木	4	林産物市況等	10

目標数値

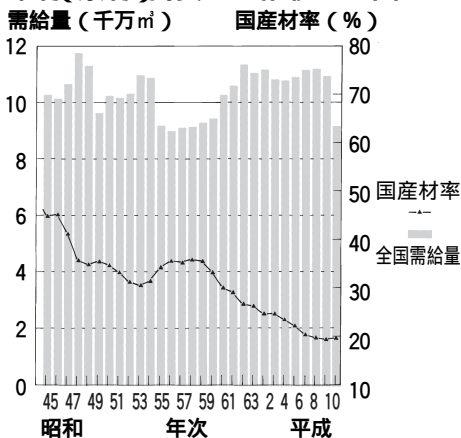
区 分		現在 (1998年)	将来 (2050年)
民有林 面積	総面積	446 千ha	440 千ha
	人工林面積	172 千ha	140 千ha
	天然林等面積	274 千ha	300 千ha
人工林の伐採時期		最長伐期 80年 50%伐採 60年	最長伐期 150年 50%伐採 80年
県産材の供給量		380 千m ³	710 千m ³

前号では、ビジョンの策定経緯や五〇年先の森林・林業のありべき姿、その姿を実現するための基本方針や目標数値などの概要を紹介しました。今回から4回に分けてビジョンの内容を具体的に紹介します。

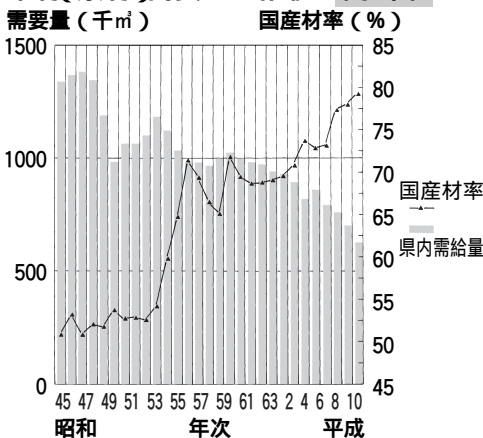
岡山二十一世紀森林・林業ビジョン
目標数値と目標設定の考え方

岡山二十一世紀森林・林業ビジョン

木材(素材)需要量の推移 全国



木材(素材)需要量の推移 岡山県



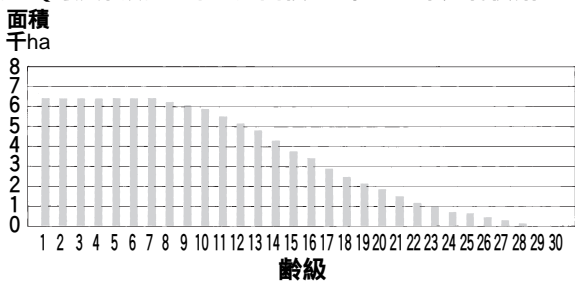
県の木材需給量の状況

県内木材需給量は、現在、約六二五万立方メートルです。このうち国産材が四九五万立方メートルで約八

〇分を占めており、全国有数の国産材加工県となっております。また、その用途は製材用が約九〇分を占めています。
県の国産材需要量の見直し
将来の木造住宅着工戸数を予想すると、人口の減少、住宅の耐用年数の延長等マイナスの判断材料がたくさんあります。
このため、五〇年先(二〇五〇年)の県内の国産材需要量を現在の四九五万立方メートルから二割減の四〇万立方メートルとしました。
必要な人工林面積目標とする四〇万

指向する人工林の年齢別配置

長伐期型(最終伐期150年 総面積104千ha 県産材供給量400千m³)



立方メートルの県産材の供給は、現在の二七二万立方メートルから四割減の一〇四万立方メートルの人工林で可能になると見込まれます。
ビジョンでは図のような資源の状態を将来の理想的な姿として描いています。

林政課計画係

岡山県緊急間伐推進計画について

林業を巡る状況は厳しく、そのため森林整備が適切に行われていない状況が見られます。特に、間伐の実施が緊急の課題となっています。

このため、岡山県においては、平成十二年度から平成十六年度の五カ年間に、緊急かつ計画的に間伐を推進する「岡山県間伐推進計画」を策定し、緊急間伐団地の設定等、市町村主導による間伐を実施するとともに、間伐材の有効利用など次のような総合的な取組を展開します。

一 間伐実施等の目標量

(間伐面積)

四万二千六百ヘクタール

(間伐材利用材積)

三三万立方メートル

(間伐材利用率)

四三%

二 間伐推進体制の整備

県は、間伐推進協議会等を設置し、組織的な間伐に努める。また、市町村は、県や森林組合等と連携するとともに、自主的

に間伐推進協議会を設置するなど地域の実情に応じた間伐推進体制を整備する。

三 重点的な間伐推進

県は、十一月、十二月を間伐推進強調月間と定め、積極的に間伐を推進するとともに、治山事業で保安林を対象に五カ年間で四千八百八十ヘクタールの間伐を実施する。

市町村は、団地森林施設計画の認定状況や要間伐森林の指定状況等を考慮のうえ、効率的、一体的な間伐が実施できる緊急間伐団地を設定する。また、間伐推進員を置くとともに、集落リーダーや指導林家等を活用し、間伐の共同実施に向けた森林所有者への働きかけを行う。県、市町村、森林組合等は、間伐相談コーナーを設置し、森林所有者等の各種相談に心じる。

四 間伐材等の利用推進

県は、木材需要拡大推進会議並びにその部会を通じて、公共施設・公共土木事業等における間伐材等の利用推進に努める。

また、各種施策により、間伐材の加工流通施設の整備充実を推進し、乾燥等規格化された間伐材製品の供給推進に努める。

五 普及啓発活動の展開

県民への理解を深めるため、間伐モデル林や美しい森、共生の森等を活用して、ボランティア間伐を推進するとともにイベントの活用やマスコミへの情報提供など様々な普及活動を展開する。

以上のとおり、間伐の実施から間伐材の利用に至るまで、総合的な間伐の推進を行い、健全で多面的な機能を発揮する森林の育成に努めていきたいと考えています。

治山課造林係



間伐が実施されていない森林



間伐が適切に実施されている森林

シリーズ地域の名木 9

「岩屋の大桂」

二 「岩屋の大桂」見どころ

所在地 苦田郡鏡野町岩屋字
大段平七三二番地
所有者 三木 英史
推定樹齢 七〇〇年
目通り周囲 五・〇^{メートル}
樹高 一八・〇^{メートル}

この大桂は、根廻り一三^{メートル}余りありますが、主幹は枯れて洞穴となっており、その枯れた幹の周囲には二次的な芽が生えています。今では、一〇本の桂が林立し、見事な偉観を呈しています。

町指定天然記念物（昭和四九年八月二七日）
県指定郷土記念物岩屋の森（昭和五二年三月三十一日）

その中で一番大きいものは、目通り周囲五・〇^{メートル}、高さ一八・〇^{メートル}に達しています。また、古い株は樹齢七〇〇年と推定され、その歴史の古さを偲ばせています。

一 はじめに
「岩屋の大桂」は、鏡野町役場のある竹田地区から香ヶ美川に沿って北上すること約一七^{キロ}、越畑ふるさと村の手前の岩屋地区にあります。

三 その他見どころ

この地区の中ほどに氏神岩屋神社があり、この裏手の森の中に、高くそびえています。

大桂を含めた周辺の森は岩屋神社の鎮守の森で、社殿の背後には、ケヤキやシラカシ等の巨木が高くそびえています。

今回、この森の中心的存在である「岩屋の大桂」について御紹介します。

また、これらを取り巻くようにヒサカキ、ヤブニツケイ、ハナイカダ、アオキなどの樹木が生い茂り、この周辺を代表する

自然景観となっています。

ケヤキには、蔓の太さ周囲一^{メートル}に達するサルナシがのぼっており、雄株であるため実はずりませんが、これほど太い蔓は、大変に珍しいものです。

なお、この森から香ヶ美川沿いに下ること約二^{キロ}、大町地区にも桂の古株があり、これは津山城構築の際、天守の真柱に供出されたと伝えられています。

四 交 通

自動車

鏡野町役場から一般道百谷寺元線、主要地方道加茂奥津線を経由。

バス

JR津山駅前から中鉄バス「越畑」行きに乗車し「岩屋」で下車。

約六〇分

（苦津普及指導区Ag野口朋弘）



岩屋神社の鎮守の森

普及指導最前線

森林・林業教育への取り組み

岡山普及指導区

一 はじめに

当普及指導区は、岡山市を中心とした人口密集地域を含んでおり、普及重点事項も小中学校を対象とした森林・林業教育の推進が大きなウエイトを占めています。

今回は、灘崎町立七区小学校六年生を対象に、六月十三日に行った森林の持つ公益的機能についての集会指導を紹介しします。

二 指導状況について

七区小学校では、地球環境について考える「調べ学習」の中で、子供たちが最近話題となっている地球温暖化と森林の果たす役割について勉強がしたいとの要望に添えて行ったものです。

当日は、六年生一〇人と教師・保護者の一一名に対して、振興局会議室で森林の持つ公益的機能についての説明を行った後、自分たちで勉強した中で解らなかったことや、日頃から疑問に感じていることについての

質疑応答を行いました。

質問のなかには、

「森林はこのままの状況で推移したら、いつ頃なくなるのですか。」

「山火事で木がなくなつた山は、どれくらいで元にもどるのですか。」

「木を切ることは、環境破壊になるのではないですか。」

等があり、子供たちの発想に驚くとともに、森林に対する関心の高さを改めて感じさせられました。

これらの質問に対して、地球規模での森林荒廃と日本の森林について説明を行い、日本の人工林は手入れを行わないと成林しないこと、日本での保育のための伐採は環境破壊には該当しないなどの説明を行いました。

七区小学校では、今まで勉強してきたことと、今回の学習を元日後日、森林の公益的機能についての発表がなされ、環境問

題についての関心が高まつたようです。

今回の指導を通じて改めて考えさせられたことは、子供たちがマスメディア等からの誤った情報を疑うことなく吸収しており、森林伐採についてもすべての木を伐ることが罪悪のように考えているため、現在の日本の人工林のおかれている状況と世界森林の状況との違いを正しく伝える必要があるということでした。

指導内容を一層わかりやすく説明できるよう、指導用資料の充実を図るとともに、会議室での対応だけでなく現地での実技指導も行っていくこととしたいと考えています。

また、現在は小学校等からの要望に応じて指導を行っていますが、小学校を中心として「森林・林業教育」に関するアンケート調査等を行い、計画的な指導体制の整備を行う予定としています。

(岡山普及指導区 Ag 金嶋彰二)



三 今後の取り組み

今後の課題としては、平成十四年度から施行される「総合的な学習時間」等に対応するため

接着剤は私たちの生活において欠くことの出来ない便利なものです。言うまでもなく木材の接着においても接着剤は重要な役割を果たしています。

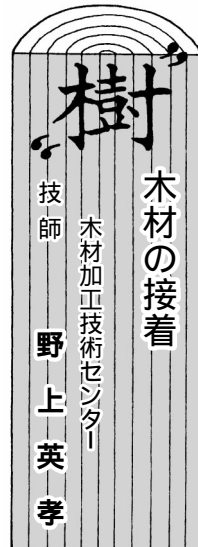
木材の接着の歴史を紐解くと、古代エジプト時代にまでさかのぼることが出来ます。ナイル川に沿ったピラミッドからの発掘品の中には、接着技術を用いた遺品が数多くあるそうです。また、ピラ

ミッドの一つから発見された壁画には、接着剤に二カワを用い、木片を基板

に張り合わせて複雑な装飾板を作成する工程が描かれています。

天然物から作られた古来の接着剤はタンパク質系と炭水化物系の二種類に大別されます。二カワはタンパク質系接着剤の代表的なもので、魚や動物の皮、骨などからとれるコラーゲンが主成分です。ミルクカゼインと大豆タンパクを主成分として作られる大豆グルーは、かつて合

板工業において大量に使用されていた歴史があります。炭水化物系接着剤は主に紙の接着剤として古くから使用されており、穀類、芋類からとれるデンプンや、海藻、植物からとれるガム質が主成分です。封筒の封を開じるとき等、糊が見あたらず、ご飯粒をすりつぶして代用した経験をお持ちの方も多いのではないのでしょうか。



木材加工技術センター
野上英孝
技師

二十世紀に入ってフェノール樹脂がドイツで開発されて以来、数多くの合成樹脂系接着剤が現れ、接着剤の性能は大きく向上します。第二次世界大戦以降、日本でも木材用接着剤の主流は合成樹脂系に代わりました。合成樹脂系接着剤は石油や天然ガスなどを原料とし、接着性能や耐朽性、耐候性に優れています。これにより、木材の利

用範囲も拡大しました。大規模構造物に用いられる集成材はその典型で、合板、パーティクルボード、LVLなど、より小さな構成要素を集成接着して作られる木質材料も建築材料に用いられるようになりました。また、合成樹脂については木材自体に注入することにより、木材の燃えやすい、狂いやすい、腐りやすいといった欠点を改良する技術も開発されています。

しかし最近、これらの合成樹脂系接着剤には様々な問題も生じています。資源の問題、使用される化学物質の環境や人体に対する影響等が厳しく問われる時代になりました。フェノール樹脂やアミノ樹脂の硬化剤として主に用いられているホルムアルデヒドの放散は、シックハウスの主要因として特に有名です。これらの諸問題を解決するための調査、研究も数多く行われるようになりました。

今、木材の接着技術は大きなターニングポイントを迎えていると思います。木材の良さは、

なんとと言っても、人と環境に優しいということだと思います。接着剤の発展により、木材、木質材料の可能性が広がるのは大変喜ばしいことです。しかし今後、そこに求められるのは、木材の良さにふさわしい、接着技術であると思います。

阿新普及指導区の紹介

阿新普及指導区は高梁川の上流に位置し、新見市、大佐町、神郷町、哲多町、哲西町の一市四町を担当し、八名の林業改良指導員が配置されています。

・ **良質材の生産** 林野率は八六・四％(森林面積六万八千五百㊦) 人工林率が五三・四％(人工林面積三万一千㊦)で、その内 齢級以下の生育途上の森林が六八％と高い状況にあります。このため、間伐を中心とした保育を徹底し、良質材の生産地を形成することが緊急の課題となっており、緊急間伐五カ年計画等により積極的に推進しています。また、良質材の育成を図るために、本年度で一六回目を迎える阿新地区優良丸太共進会を、十一月に行うこととしており木材市場に高品質な素材を供給することにより、地域林業の振興を図っています。

・ **美しい森づくり** 森林の果たしている役割と重要性の認識を深めるため、今年五月にオーブ

ンした「新見美しい森」を活用し、小学生を対象にした森林・林業教室、植樹のつどいなど美しい森づくり運動を積極的に展開し、県民各層に森林・林業教育の推進を図っています。

・ 林研グループの活動支援

当普及指導区には一三の林研グループにより組織される阿新地区林研グループ協議会(会長 眞壁覚 事務局・森林課)があり、毎年、各市町持ち回りで会場を替えながら林研グループ交換研修大会を開催しています。本年度は一七回目を迎え、八月

に神郷町で間伐をテーマに実施しました。また、県内の女性林研グループ連絡協議会(会長山口紀久子 事務局・森林課)についても、交換研修会を開催するなど積極的な活動支援を行っています。

・ 都市と山村の交流

岡山市興除地区と新見市の小・中学生、教員との間や倉敷市民と大佐町民との間で都市と山村との交流

が毎年行われており、森林・林業教室等を開催するなどの支援を行っています。

・ 各林業改良指導員からひと言

磯田耕治(地区主任)
阿新の山々が、間伐の行き届いた美しい森になることを夢見てがんばっています。

江見喜光

四月より当普及指導区に配属になり、新見市南部を担当しています。よろしく願っています。

芦田素廣

新見市中部を担当しています。林業経営と機械化に関するお問い合わせは私にどうぞ。

内田直人

昨年より阿新普及指導区でAgとしてがんばっています。大佐町を担当しております。よろしく願います。

野崎晋也

哲多町を担当しています。間伐の推進のためがんばっています。よろしく願います。

鈴木理恵

緑と水の豊かな阿新地域を第一のふるさとと思っ

ています。神郷町担当です。よろしく願います。

島本 明

阿新が最初の勤務地で今年で三年目になります。哲西町を担当しています。よろしく願います。

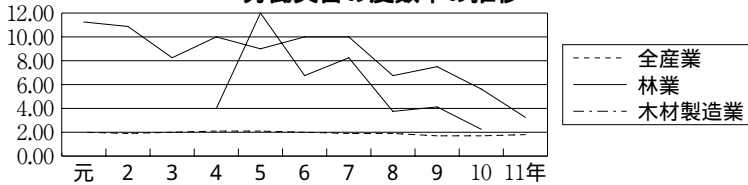
本田隆明

新見市の北部を担当しています。千屋は涼しく、美しい森も最高です。よろしく願います。森林・林業に関する質問、ご要望があればご連絡下さい。



内田直人 本田隆明
磯田耕治 鈴木理恵
島本 明 芦田素廣
野崎晋也 江見喜光

労働災害の度数率の推移



- (注) 1 度数率とは、100万延実労働時間当たりの労働災害による死傷者数で、災害発生
の頻度を表す。
2 算出方法 = $\frac{\text{労働災害による死傷者数}}{\text{延実労働時間数}} \times 1,000,000$
3 木材製造業については、3年までは木集計、11年は集計中である。
4 労働省調べによる。

最近における県内の死亡災害事例

作業	発生日時	年齢等	災害の概要
木材 伐出	H12.4.27 AM11:20頃	男73才	1 ヒノキ伐採の作業中、伐採木がかかり木となつたため、チルホールを取りに行こうとして、かかり木の下を通過したところ、突然かかり木が落下して、下敷きとなった。 2 被災者はかかり木の下敷きになり死亡。かかり木は被災者の頭から肩にかけて激突しており、保安帽は外れていた。
下刈り	H12.5.28 AM11:30頃	男67才	1 急傾斜地において間伐を行う前処理として、小径木の下刈り作業中、約6.6m下方に滑落し、頸椎を損傷して窒息死した。
木材 伐出	H12.6.13 AM 8:10頃	男64才	1 ヒノキの間伐を行い、玉切り後、集材していたところ、集材木とともに約9m下方の作業道に転落し、全身打撲により死亡した。

お知らせ

「林業労働災害が多発しています」

林業労働は作業現場が傾斜のある不安定な場所であること、機械化が遅れていることや高齢者が多いことから、他産業に比べて災害発生頻度が高くなっています。(図)

本県における林業労働災害は、生産活動の停滞と相まって、ここ五、六年減少傾向になりました。しかし、今年になって、死亡事故が立て続けに三件も発生し、最悪の事態を生じています。(表)

被災者はいずれも六十歳以上のベテランフォレストラーです。三名中、二名が急傾斜地での刈払や集材の作業、一名が伐木中における「かかり木」の処理作業でした。

県では、これを受けて早速、七月の安全推進月間に「岡山県林業労働安全推進会議」を開催し、災害の撲滅に向けた取組について協議しました。会議の席で、ある委員から「このたびの事故はどこでも起こり得るもので、決して運が悪かったとして片付けられるものではない。」との発言がありました。指摘のとおり、多発する林業労働災害は基本動作を守らなかつたこと、慣れや油断から起こるものが決して少なくありません。「災害は忘れた頃にやってくる」と言います。事業主、フォレストラーの皆さん、安全に対する心得を再度、確認して、基本作業を心がけてください。

林政課 林業振興係

林業改良指導員中央研修大会の開催

本年度の「林業改良指導員中央研修大会」を八月十八日に岡山市のまきび会館において開催しました。

この研修は普及指導職員の資質の向上を図り、普及指導事業を効率的かつ円滑に推進することを目的として毎年開催しているもので、今年は六十七名の林業改良指導員が出席しました。

浪速農林水産部参与（林政課長）の開会のあいさつの後、林業試験場の藤原研究員が「樹木ときのこのバイオテクノロジー」と題して試験研究成果の発表を行いました。

午後からは「森林整備のまとめ役となるリーダーの育成」をテーマにシンポジウムを行い四普及指導区の林業改良指導員が、地域における森林整備のまとめ役の育成を支援し、持続可能な森林経営の推進を図るにはどうするかなどについて、それぞれの地域の特性を踏まえながら発表を行いました。

シンポジウム終了後、「岡山二十一世紀森林・林業ビジョ

ン」策定委員会委員長として、ビジョンの策定に御尽力をいただいた岡山大学大学院自然科学研究科の千葉教授を講師に招き、「人と森林との共生をめざした新たな転換」と題した講演を行いました。講演では、太古から「畏れ」と「親しみ」を持つて森林にかかわってきた日本人のこと、最近の緑ブーム・森林ブームの中で国民の関心が環境保全機能に偏り、木材等の生産機能が忘れられていること、岡山県の森林・林業の発展のためには岡山二十一世紀森林・林業ビジョンに沿って直ちに行動を起こす必要があること、「森林栄えて林業滅ぶ」とのならないよう林業改良指導員は原点に戻って地に足のついた活動を行ってほしいことなどについて高く豊富なご見識をお持ちの先生から貴重なお話をいただきました。

先生の心強いお話を胸に今後、林業改良指導員は元氣と勇氣を出して普及活動に励みます。（林業専門技術員 武用康男）



林産物市場況

製材 (6月下旬)

木材 (8月下旬)

杉正角 3m			桧正角 3m			桧長柱 6m		
寸法	等級	安値・高値 (千円)	寸法	等級	安値・高値 (千円)	寸法	等級	安値・高値 (千円)
6.0	一等	25 - 30	6.0	一等	40 - 45	10.5	特等	70 - 80
7.5	一等	20 - 22	7.5	一等	30 - 35	12.0	特等	105 - 110
9.0	上一	15 - 16	9.0	上一	18 - 20	"	上小	120 - 130
"	一等	18 - 20	"	一等	25 - 28	13.5	特等	90 - 95
10.5	一等	30 - 35	10.5	一等	65 - 70	"	上小	100 - 120
"	特等	35 - 40	"	特等	78 - 80	ラ ス 板		
"	上小	55 - 60	"	上小	110 - 130	2m 1.2×	9.0	20 - 23
"	無節	70 - 80	"	無節	180 - 200	3m 1.2×	9.0	20 - 23
12.0	特等	35 - 40	12.0	特等	72 - 83	2m 1.5×	10.5	25 - 28
"	上小	50 - 60	"	上小	110 - 150	2m 0.9×	24.0	65 - 70
"	無節	60 - 70	"	無節	180 - 200	2m 1.5×	21.0	30 - 40
長サ 4m			長サ 4m			造作材		
6.0	一等	35 - 40	6.0	一等	45 - 50	杉 4m 3.0×	3.0	無節 (本) 6 - 8
9.0	上一	18 - 20	9.0	上一	25 - 28	杉 4m 4.0×	4.5	無節 (本) 12 - 20
"	一等	25 - 28	"	一等	40 - 45	杉 4m 4.5×	10.5	無節 180 - 200
10.5	特等	40 - 45	10.5	特等	70 - 75	桧 4m 4.5×	10.5	上小 150 - 200
12.0	特等	38 - 40	12.0	特等	70 - 75	桧 4m 4.5×	10.5	無節 200 - 250

長さ	径 (cm)	杉 (千円)	桧 (千円)	松 (千円)
3m	7 - 12	6	10	-
	13	7	26	-
	14 - 16	17	37	-
	18上	17	38	13
4m	7 - 12	12	18	-
	11 - 13	-	-	-
	14 - 16	-	35	-
	18上	16	29	20
6m	14 - 16	-	58	-
	18 - 20	-	50	-

乾しいたけ (7月下旬)

名柄別	価格	価格kg当り (百円)	
		平均	高値
香 信 大 葉		42	59
" 中 葉		36	57
" 小 葉		22	42
パ レ 大 葉		25	42
" 中 葉		18	39
ス ラ イ ス		6	19
香 茹		46	69
上 冬 茹		44	78
並 "		27	63
並 並 "		17	39
小 玉 "		11	36
格 外 品		9	26

編集後記

九月一日は「防災の日」です。地震や台風などの災害から身を守るため、日頃から食料や飲料水の備蓄、避難場所の確認など災害への備えをしっかりとっておきましょう。

自然災害はいつ起こるか予測は難しいですが、日頃から防災情報に注意するとともに、防災訓練等に参加し災害時にとるべき行動を身につけておくことも大切です。

次回は、十一月の発行予定です。(B)